

# 令和元年12月14日～15日 第12回 畜産フェア アンケート集計結果

香川県食鳥肉販売業生活衛生同業組合

## アンケート標本

配布場所：香川県高松市林町 サンメッセ香川 小展示場

配布対象者：同イベント来場者

実施目的：鶏肉の安全・安心についてのパンフレット配布  
同内容についての周知度についての確認

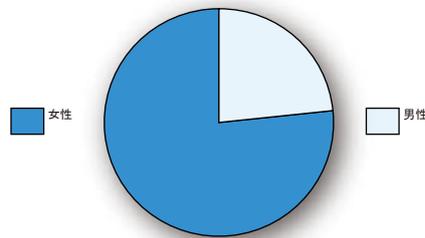
配布日時：令和元年12月14日～15日 午前10時～午後3時(2日)

配布枚数：1,500枚

回収枚数：890枚(内訳、料理教室82枚、小展示場内808枚)

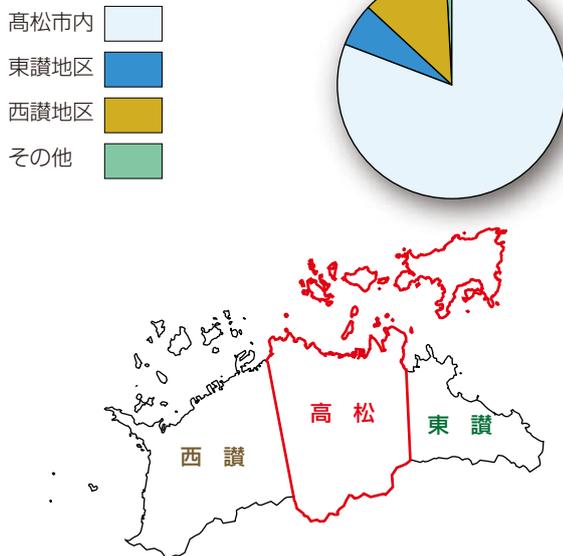
## 標本の構成について

●男女比率：男性 23.6% vs 女性 76.4%



過去のデータでは、H25年にはアンケート回収枚数1,150枚、H29年には983枚でした。只、H29年は会場が違いますので参考程度にお伝えします。  
H25年男女比 39%vs61%  
H29年男女比 16%vs84%  
です。今回も会場は前2回とは違いますがH25年時と同じ場所の違う会場です。  
※H30にもイベント実施しましたが、当時は鳥インフルエンザが発生した年であり、インフルエンザについてのアンケートでした

●居住地：高松市内 80.9%、東讃 6.2%、西讃 12.4%、その他 0.6%



過去3回のイベントでは高松市在住の人たちの参加が50%～60%で推移していましたが、今回は大半が高松市在住の人達で占められています。  
イベントの開催規模が前年から比べても半分規模であり、露天(惣菜類の屋台販売業者)の出店が無くなったために遠方からの来場者が少なくなったとの香川県のイベント主催者が事後評価での話がありました。  
当組合が参加しているイベントの主催が香川県であり、会場決定や開催時期が決定するのが8月前後となることから、当初補助金事業を計画策定するも大幅な修正も発生する事も予想されます。今まではフリーマーケットの開催日と同日に本イベントを開催して集客に弾みがついていましたが、単独イベントになると集客数が減少するのが明白であり、その中でいかに食鳥ブースに関心を持ってもらうかで啓蒙活動にも差がでてきます。そこで試食コーナーやアンケートプレゼント等に予算が割られます。

●年齢：10代 6.2%、20代 8.4%、30代 24.2%  
40代 29.0%、50代 17.5%、60代以上 12.4%

